

第7回国頭トレイルランニング大会 コース誤誘導に関する報告について

拝啓、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本村の諸事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の第7回国頭トレイルランニング大会の開催において、やんばる国立公園特別保護地区にランナーを誤誘導するという事態が発生したことにつきまして、多くの関係者にご迷惑をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

大会後、各関係機関と調整を行い、この度下記のとおり報告（公表）することといたしました。

今後、このような事態が起こることのないよう体制を整えていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

1. 経過について

令和元年12月14日土曜日、本村の地域行事である「第7回国頭トレイルランニング大会」トレイルランの部において、スタートから4.5km地点にある与那覇岳登山道の山頂口入口付近において直進すべき箇所に常設ロープと立入禁止看板が撤去されておらず、先頭集団から多くのランナーがコースを外れやんばる国立公園特別保護地区へ進入する事態が発生しました。

その後行方不明者が発生したため、レースを中止とし、ランナーの安全確認を行い、18時10分にランナー全員の無事を確認し、環境省へ誤誘導の報告を行いました。

令和元年12月18日水曜日に環境省やんばる自然保護官事務所、国頭村（企画商工観光課、世界自然遺産推進室）、スポーツツーリズム沖縄（大会事務局）で誤進入したエリアを現場調査実施したところ、植生の損傷が一部見られたことから山頂口を閉鎖して観察を行ってきました。

その後、令和2年4月30日に再度エリアの現地調査を実施した結果、回復が見られたことを報告いたします。

2. 誤誘導の原因

前回までは、コースに沿って歩行区間等の木杭を搬入し作業を行っていたが、今回足場板等の資材搬入が多く、コース順に設置すると登り坂となり役員の負担が多くなることからコースの逆から搬入した。そのため、山頂口の手前で作業が終了し、山頂口のロープ、看板撤去の確認を怠ったため、誤誘導が発生した。

3. 今後の対応について

誤誘導を起こさないため、今後の対応策を協議し下記のとおり対応することとする。

- (1) 山頂口入口に設定している「直進禁止」の看板、ロープについて前日までに撤去するとともにコースの最終確認をおこない、常設看板、ロープ設置の担当を決めて対応する。
- (2) コース観察員・監視員の配置については、コース順路からの配置を行う。
- (3) 特別保護地区側の山頂口入口に侵入禁止のロープを設置し、誤誘導が起こらないようレイアウトする。
- (4) これまで、大会スーパーバイザーによるコースチェックは大会前の1回としていたが、2回に増やす（8月～10月と大会前の計2回）。
- (5) コース観察員の携帯電話キャリアの確認とショートメールによる緊急時の運用の取り決めを図る。
- (6) 国頭村ホームページにて誤誘導の報告を行う（公表）。

今後は、環境省と引き続き協議を行い、山頂口の閉鎖解除の時期について検討します。

また、大会後のコース全体におけるモニタリング調査についても継続して実施し、今年度の開催に向けて誤誘導がないよう十分に留意し、安全安心な大会準備・運営に努めてまいります。

令和2年6月15日

国頭トレイルランニング大会実行委員会
実行委員長
国頭村長 知花 靖